



とうきょう すくわくプログラム



「とうきょう すくわくプログラム」は、すべての乳幼児が「すくすく(伸びる・育つ)」と「わくわく(好奇心・探究心)」を育むための幼保共通のプログラムです。このプログラムは、幼稚園や保育所などの施設の垣根を越え、子どもたちが主体的に協力しながら探究活動を行うことを支援します。

パピーナ保育園では、“乳幼児の「うつくしい心」「すこやかなからだ」「ゆたかな夢」を育てるそれは私たちの願いです”という理念のもと、一人ひとりの子どもに寄り添いながら心の育ちをサポートする「すくわくプログラム」を実施しています。このプログラムを通じて、子どもたちは将来にわたって大切な「生きる力」の基盤を築くと信じています。心の成長と身体を健康を両立させることは、卒園後のさまざまなステージで大きな力になります。子どもたちの未来が輝かしいものであることを心から願っています。

パピーナで実施する「探究活動」の流れ

※ 図…とうきょうすくわくプログラム「ポケットブック」引用



パピーナ保育園では、外部講師を招いてプログラムを実施しています。「かず・ことば・かたち」を主なテーマとしており、年齢や成長段階に合わせた探究活動を行います。

この経験を通じて、小学校生活に繋がる「聞いて」「理解して」「自分なりに考えて行動する」力を育むことも目指しています。また、友だちや大人との交流を通じて、自然とコミュニケーション能力や協調性も身につけられるように進めています。

①子どもたちの興味・関心を深められそうなテーマを設定

***かず・ことば・かたち・量・長さ等**

②テーマに関して、子どもたちの考えやイメージを聞き出すための問いを準備

***年間カリキュラム(月1回実施)を作成し、保育士と講師間で事前にすり合わせます**

③素材や道具を準備し、環境を整えます

***じっくり取り組め、繰り返し試せる素材を多く準備します**



④探究活動を実施し、記録します

***クラス毎に実践記録・言葉・子どもたちの気づきを写真と共に残します**

⑤実践の振り返り・共有

***実施内容を保護者へドキュメンテーションとして園内掲示・HP等へ報告をします**

令和6年7月 実施内容

テーマ:かたち・かず・ことば

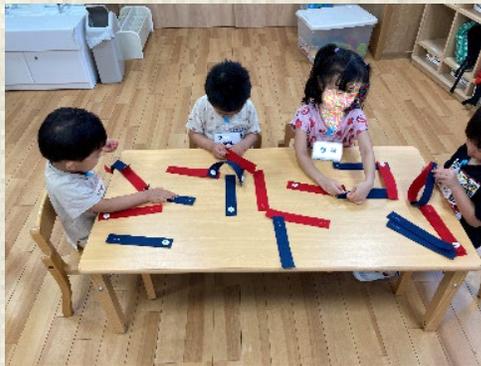
遊びや生活の中で、数量や図形に親しむ体験を重ね、興味や関心、感覚をもてるよう、様々な活動を行う。

3歳児 クラス

活動時間：30分

参加人数：7人

- 探究活動 … 長さ比べ
「同じ」「違う」「長い」「短い」を深める
- 準備した物
ボタンのついたフェルト
- 内容
どうしたら長くなるか体験する



子どもたちの様子

自分でつなげたフェルトを見ながら「大きい、小さい」や「長い」「短い」といった言葉を使い、さらに「付ける、はずす、留める、取る」といった動作に関する言葉も自然に出てきました。ボタンをはめて長くしたものを、講師がもつフェルトの長さと比較する姿が見られました。

4歳児クラス

活動時間：30分

参加人数：10人

- 探究活動 … かず
数量に親しむ体験をする
- 準備した物
積み木
- 内容
・数ってどこにあるか?を問いかける
・部屋の中の数を探してみる
・積み木遊びを通して、いろいろな数を表現してみる



子どもたちの様子

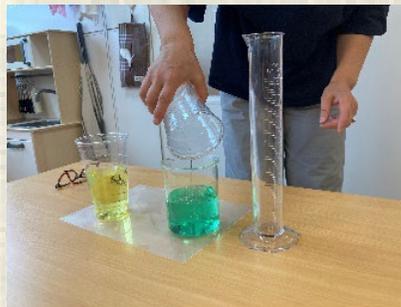
絵カードを用いて数を数えたり、実際に形を描いてみたりする経験等を通して、「かず」へ親しみを持ったようでした。1枚の紙に大きな丸を描いてお皿に見立て、その中に三つの丸を並べ完成してからは、自然と数を数えてみたり、「この大きさだと、残り何個入るのだろう」と考えてみたりする姿が見られました。また、数を数える楽しみに繋がったところで、講師が、「部屋に数があるでしょうか」と問いかけると、「1から探してみよう!!」と夢中になって部屋の中を探し回っていました。

5歳児 クラス

活動時間：30分

参加人数：10人

- 探究活動 … かず
「水の量の不思議を体験する」
- 準備した物
色水、透明な大きさの異なる入れ物
視覚的に区別できるように色水
(黄・緑)
- 内容
入れ物により見た目が違う不思議を
体験する



子どもたちの様子

色水を同じ大きさのコップにそれぞれ同量入れて、子どもたちが同じ量であることを確認していました。その後、違う入れものに入ると、子どもたちは「きいろの方が多い」と発言していました。もとのコップに色水を戻し、同量であることを確認し、改めて、もう一度違う入れものに色水を入れていました。しかし、答えは変わらなかったため、「なんで?」と不思議な様子で考えていました。何度か繰り返し見せていくと、子どもたちが「同じ」と気づきはじめました。

実施前の出来事… 実施前にビーカーとメスシリンダーをテーブルに準備すると、1名の園児が「理科みたい」と違った視点からの発言が見られました。小学校見学の際に見た事を思い出したようでした。

探究活動を通して ～職員より～

3歳児～5歳児クラスで探究活動を実施していますが、どのクラスも夢中になって取り組んでおり嬉しい限りです。この活動を通じて、以下のような学びを得ることができたように思います。

比較・分類の理解

物の特性(大きさ、長さ、数、色など)を理解する過程で、さまざまな多様性に触れ、心を育てていました。また、手で触れ、目で見、心で感じることで、自然と分類する力が養われ、新たな探究心が芽生えていました。

探究心の育成

自分で考え、試行錯誤をすることで、探究心が育まれました。子どもたちは自ら疑問を持ち、解決策を見つける楽しさを体験しました。

コミュニケーション能力の向上

グループ活動を通じて、他の子どもたちと意見を交換し、協力することの大切さを学びました。

私たちは、探究活動を通じて子どもたちの成長を見守り、支援していきます。今後も子どもたちの探究心を大切に、様々な学びの機会を提供してまいります。